

会議室・展示施設における感染防止対策の徹底について

【チェックリスト】 2021.11.25改訂版

【基本的感染症対策】

1. 大声での歓声・声援等が想定されるイベントは収容定員の半分程度以内の参加人数とする
2. 入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
3. マスクの着用（従業員及び入場者に対する周知）
4. 施設の換気と消毒を徹底する
5. 発熱等の症状がある場合の適切な対応（検温によるスクリーニング等）

以下の項目をご確認いただきチェック☑を入れてください。

【入場者の制限等】 ※「十分な距離」とは1メートル以上をいいます

- 受付及び会場内では、人と人との距離を確保する
- 入退場時の整理や誘導を行い、人と人との距離の確保を行う
- 入場者及び従業員のマスク着用を徹底する
- 発熱等の症状のある方は入場制限を行う（検温によるスクリーニング等）
- 入場者の手洗いや手指消毒を徹底する
- 必要に応じて、入場制限等を行うことにより、施設内の移動においても人と人との接触を避けるための十分な距離を確保する

【施設内における対策等】

- 大声での歓声・声援等が想定されるイベントは収容定員の半分程度以内の参加人数とする
- 必要に応じて、人と人が対面する場所はパーテーションやビニールカーテンを設ける
- アルコール消毒液などを十分な量準備・設置する
- 倉庫内の備品は必ず入場者が触れる前に消毒を行い、利用後消毒を行う
- 利用中に窓や扉を開けるなど常時換気を徹底する
- 休憩室等における3密（密閉、密集、密接）の回避

【その他】

- 「新しい生活様式」の実践例や業種ごとの関係団体が作成したガイドラインを確認する
- 入場予定人数を事前に把握し、参加者の連絡先等の把握を行う
参加者に接触確認アプリ「COCOA」のインストールを呼びかける【推奨】
- 感染症防止対策及び発症者がした場合の対応手順を決め、関係者に周知する
- 会場利用中及び利用後、2週間以内にスタッフや入場者にコロナウイルスの感染が疑われる症状が現れた場合は、当協会を含め入場者や関係先へ連絡する
【当協会連絡先】093-541-5931（サービス課直通）

以下、「飲食を伴うものの発声がないもの」に該当する催事は必ずご確認ください。

【飲食時の対策等】

- 食事時以外のマスク着用を周知徹底し、必要に応じてマスクの配布等を実施する
- 会話の有無を判断し、会話が想定される場面では飲食禁止を徹底する
- 十分な換気を行い、機械換気設備による換気量を確保されていることを確認できること
- マスクを外す時間を短くするため、食事時間短縮のための措置を講ずること

上記内容を確認の上、施設を利用します。

記入日：令和 年 月 日

利用者（会社）名： _____

担当者名： _____

緊急連絡先： _____

(参考)

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離がオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成